

こんにちは!!

市長です

Vol.58

「今、平和を考える。」

▶企画展初日のオープニング
セレモニーで當員村長と



先月、市役所本庁舎の市民ホールで「今、平和を考える。」沖繩本島のでんぶす(へそ)宜野座村観光物産展&沖繩本土復帰50年の歴史を学ぶ」を開催しました。

地理的、人口の重心など、さまざまな形で「へそまち」を標ぼうしている全国9つの市町村で協議会をつく

っており、この協議会に宜野座村も加盟をしています。今年5月、沖繩は本土復帰50年を迎えました。この機会に改めて平和について考えてもらおうと、沖繩の歴史や現在の基地負担などに関するパネル展、PR動画の放映や、物産品の販売を行いました。物産展では、海ぶどう、塩もずく、黒糖、天然塩など沖繩らしい品々が大好評でした。

企画展の初日、オンラインで式典を行い、宜野座村の當員村長にごあいさつをいただきました。 「節目の年にこのような機会を設けていただき感謝します。この機会に村の総面積の半分以上を占める米軍施設の事にも関心を寄せてほしい。」と話されていました。

『平和は力では保たれない。平和はただ理解し合うことよってのみ達成されるのだ。』20世紀最高の理論物理学者と評されたアインシュタインの言葉です。

世界では現在も紛争が続いています。誰もが平穏に暮らせるよう、今こそ改めて平和の大切さを考える必要があると感じています。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(回) 253215

美術の小窓



《光の恋人》

飯田 善國 作

1988年

高さ：647~987cm

素材：ステンレス

飯田善國は、ステンレスや木、ブロンズなどを素材に抽象彫刻を制作していました。1960年代後半からは、屋外で風によって回転する作品を展開しました。詩や評論も手がけていた飯田は、「光は、空、雲、風、そして環境と溶け合いながら宇宙のささやきを人間にとどけてくれる。光は、過去、現在、未来につながる永遠の恋人でもある」と言い遺しています。この作品は、渋川総合公園の自由広場の北側にあります。

●市美術館は、移転のため休館しています

地域おこし
協力隊

長沼隊員の
おすすめスポット

— Vol.18 —



今回ご紹介するのは行幸田そば畑です！白くて小さなそばの花が一面に広がるその奥に、赤城山と街の景色を見ることが出来ます。そして振り返ると榛名山が！晴れた日に行くと空がとっても近くて、青空とそばの花の素敵なコラボレーションを楽しめます。写真は今年の9月19日に撮影したものです。今年も今月中旬くらいに見頃になるのではないかと思います。見頃の情報は協力隊のSNSで発信していく予定ですのでぜひチェックしてくださいね！



▲協力隊の
SNSは
こちら

